

Short-term Study Abroad Program in Economics (USA)

2025年度 募集要項 (アメリカ)

立教大学 経済学部

【2次募集】→終了

2次募集期間：3月22日(土) 正午～3月24日(月) 16:00

選考結果発表：3月26日(水) 15:00

選考結果発表：[経済学部掲示板](#)

【3次募集】

2次募集期間：3月26日(水) 15:00～3月31日(月) 正午 12:00

選考結果発表：4月2日(水) 9:00

選考結果発表：[経済学部掲示板](#)

※申請書類は1次募集と同様

(以下を確認)

Ⅱ「Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)」科目について

2 履修登録について

(1) スケジュール

I プログラムの概要について

1 ねらい

学生が国際的な場面で活躍するために必要となる以下のスキルを身につけることを目的とする。

- ① 経済・経営について英語で議論できる語学力を養う
- ② 異文化コミュニケーションに関する知識とそれを実践する能力を養う

2 内容

プログラムは、日本での事前研修、アメリカにおける海外研修、帰国後の最終レポートの提出によって構成される。

- ① 事前研修 (100分×14回程度)：北米地域の経済、経営、文化等に関する事前学習、ほか
- ② 海外研修：2025年8月2日(土)～8月25日(月) (日本発着) [予定]
 - 英語による経済・経営に関する講義およびプレゼンテーション演習
 - 地域経済視察、企業見学

なお、海外研修中の使用言語は全て英語となる。

③ 最終レポート提出

3 海外研修先

大 学 名： ポートランド州立大学 Portland State University
(<https://www.pdx.edu/>)
所 在 地： アメリカ合衆国・オレゴン州 ポートランド市
1825 SW Broadway, Portland, OR 97201, USA
設 立 年： 1946年
設 立 形 態： 州立大学
学 生 数： 学部 約17,000名、大学院 約4,700名

4 受入機関および宿泊先

- 受入機関： Center for International & English Learning, Office of Global Engagement and Innovation, Portland State University
<https://www.pdx.edu/center-for-international-and-english-learning/>
- 宿泊先： 受入大学が提携する斡旋業者の紹介による現地家庭でのホームステイ
※ステイ先の環境や家族構成、人種・文化的背景等は、各受入家庭により異なることをご承知ください。
※※現地出発の前日（8月23日（土））の1泊については、空港近くのホテルでの宿泊になります。

5 海外研修スケジュール [予定]

2025年 8月2日（土） 羽田空港 発 → シアトル空港 経由 → ポートランド空港 着
8月4日（月）～ 8月21日（木） ポートランド州立大学にて研修
8月23日（土） ステイ先家庭からホテルへ移動（当日はホテルで宿泊）
8月24日（日） ポートランド空港 発 → シアトル空港経由で帰国
8月25日（月） 羽田空港 着

6 開催形式

オープン型（国内他大学の学生と一緒に講義やアクティビティに参加する）
先方大学が開講する既存のプログラムに参加する形式となる。**本学学生のためだけに特別の配慮があるわけではないため、自律的に行動できることが望ましい。**アメリカへの出入国時は基本的に団体で移動し、個人の都合による離脱や早期帰国は一切認めない。滞在中は担当教員及び受入先大学教職員の指示に従って行動すること。

7 募集人数

6名以上15名程度

8 参加費総額

90万円台見込（為替相場や航空運賃の変動により増減の可能性はある）

現地プログラム費用：授業料、教材代、ホームステイ費（食事は基本的にステイ先家庭が提供、ただし内容はステイ先の状況で異なる可能性がある）、正課外アクティビティ費用、航空運賃、海外旅行傷害保険が含まれる。

※パスポート取得または更新が必要な場合の申請費用、およびアメリカ入国に必要な「ESTA(電子渡航認証)」申請費用は別途自己負担となる。

※日本国籍以外の受講生は、国籍によってはアメリカの入国ビザ申請が必要になる場合があり、近年ビザ申請の審査が厳格化してきている(ビザ申請には自己負担により別途費用の支払が必要)。ビザが交付されない場合、アメリカでの現地研修に参加できなくなる可能性があるため、熟慮の上で参加申込について判断すること。ビザ申請に関する詳細については、アメリカ大使館のウェブサイトを確認すること。 <https://jp.usembassy.gov/visas/#NIV>

※日本国内の感染症流行の拡大により、現地への渡航制限や滞在中の行動制限が発生するなど、結果的に研修地へ渡航できない可能性がある。その際のキャンセル費用や追加費用は自己負担とする。

9 集合および解散

羽田空港集合・羽田空港解散

II 「Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)」科目について

1 以下の科目として開講される。

経済学部 「Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)」

経済学部生： 科目区分：共通選択科目 2 の卒業要件単位

他学部生： 所属学部の他学部履修の規程により履修

開講学期 春学期

単位数 6単位

履修対象学生 経済学部、他学部ともに学部2～4年

(学部1年生及び大学院生は参加不可)

履修上の注意

・**修得単位は、当該年度の特別卒業判定の対象とならないので、特別卒業申請予定者は注意すること。**

2 履修登録について

(1) スケジュール 航空券手配の関係上、例年よりも手続の日程が早まるので注意すること。

日程	時間	場所	事項・配布物
3/11 (火)	13:30～ 14:30	<対面開催> 会場：池袋キャンパス 8号館4階 8402教室	履修ガイダンス 参加申込手続に関する説明
出願受付：日 時： 3/17 (月) ～3/19 (水) 16:00 提出先： こちらのフォーム 上に必要事項を全て記入し、以下の書類データをアップロードすること。 出願書類：・ 出願理由書 ・成績証明書（成績参照システムをPDFファイルで提出してください） ※成績参照画面をPDFにする方法は こちら から確認してください。			
3/22 (土)	12:00	経済学部 WEB掲示板	選考結果（履修者）発表・ 履修登録状況画面の更新：3月23日（日）11:00

初回授業	時限・教室は3月19日の時間割発表で確認すること	第1回事前研修
6月上旬	時限・教室は3月19日の時間割発表で確認すること	旅行代金の案内と振込 現地プログラム費用の案内と振込

【注意事項】 1) 履修許可者発表後の履修取消はできない。

2) 本プログラムの開講される曜日・時限に別科目の登録を行わないこと。

【二次募集を行う場合のスケジュール】

募集期間：3月22日（土）正午 ～ 3月24日（月）16:00

結果発表：3月26日（水）15:00

履修登録状況画面の更新：3月27日（木）18:00

(2) 「実施」の確定について

3月19日（水）の参加申込受付締切時点で、履修者が最低催行人数6名を下回る場合、二次募集を行う。3月24日（月）の時点で履修者が最低催行人数6名を下回る場合、当該科目は休講とする。

なお、休講の場合、4月7日（月）に経済学部 WEB 掲示板にて通知する。

(3) 履修者の確定について

- ① 出願書類を提出した者のうち、出願理由書、成績証明書（成績参照システム画面のコピーで可）を総合的に評価して履修者を確定する。
- ② 選考結果発表(一次募集：3月22日(土)、(あれば) 二次募集：3月26日(水))の後、教務事務センターが履修登録を行う。所定の日時以降に履修登録状況画面(Web)で正しく登録されていることを確認すること(一次募集、二次募集ともに3月31日(月)18:00以降)。やむを得ない事情で研修に参加できない場合も履修登録の取消は一切できない。

3 応募要領

(1) 応募資格

- ① 2025 年度春学期に、経済学部または他学部 2～4 年次に在学する者（学部 1 年次生及び大学院生不可）
- ② 海外での学習に意欲のある者
- ③ 事前研修参加が可能な者
- ④ 「Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)」の単位を未修得の者。
※**同学期に募集をする「SSA（CAN）」には、併願できないので注意。**
語学力の目安： TOEIC L&R 450点相当以上を満たしていることが望ましい。

(2) 出願書類

参加申込用Googleフォームに必要事項を記入し、フォーム経由で以下の書類データをアップロードすること。

① 出願理由書

※**注意： AIが書いたものをそのまま提出せず、自分自身で作成すること。**

② 成績証明書（成績参照システムをPDFファイルで提出してください）

※成績参照画面をPDFにする方法は[こちら](#)から確認してください。

(3) 参加費総額：90万円台見込

※現地プログラム参加費は、履修者数と為替相場の変動によって増減の可能性はある。

① 現地プログラム参加費

プログラムの授業料、教材代、ホームステイ費用（食費含む）、帰国前ホテル宿泊費（1泊分）、正課外アクティビティ費用を含む。

① 航空運賃および海外旅行傷害保険料

② ESTA（電子渡航認証）申請料：21USドル（2025年3月現在、変動の可能性あり）

アメリカに入学する場合、事前にESTAの申請・取得が必要。※各自で申請。詳細は事前研修時に説明する。

注意：国籍によっては、アメリカ入国の際にビザ申請が求められる可能性がある。その場合、別途申請料が発生するので留意すること。

(4) 支払方法：銀行振り込み

① 現地プログラム費用は、期日までに委託旅行会社の銀行口座へ振り込むこと（6月を予定）。

② 航空運賃および海外旅行傷害保険料は、所定の期日（6月を予定）までに委託旅行会社及び大学が包括契約する保険会社代理店が指定する銀行口座へ振り込むこと。

※いずれについても、費用振込の案内は事前研修の際に配布する。

(5) 海外研修辞退の違約金

履修登録後の参加辞退は認めない。やむを得ない事情により参加を辞退する場合でも、履修取消は行わない。また、辞退により発生する違約金・手数料等は辞退者が負担する。

辞退申し出先：学部事務2課(経済学部担当) 池袋キャンパス12号館4階

(6) 保険

① 海外旅行傷害保険（海外研修期間中の死亡・疾病・傷害・損害賠償責任付）は、大学の指定した業者で加入手続きを行う。手続きは大学が一括して行う。

② 本プログラムは、学生教育研究災害傷害保険（全員加入済）の対象となる。

[正課・学校行事・学校に届け出た課外活動（いずれも海外を含む）に参加している間の事故による傷害に適用。「学生教育研究災害傷害保険のしおり」参照]

4 「Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)」の成績評価方法・基準について

(1) 成績評価方法・基準

① 春学期の事前講義への積極的参加と貢献(40%)

② 海外研修における成績(40%)

③ 最終レポート(帰国後に提出)(20%)

本学及び米国における全ての授業に出席すること。4回以上の遅刻や欠席は D 評価となる可能性がある。

(2) 成績評価は、春学期科目として通知する。ただし通常の成績発表には間に合わないため、9月22日（月）以降、成績参照システム画面で確認すること。

(3) 成績評価調査について

成績評価調査申請期間については、経済学部WEB掲示板に掲示するので確認すること。

(4) 最終レポートの提出要領

- ① テーマは、海外研修時に発表する。
- ② 提出期限：2025年9月3日(水)
- ③ 提出方法：Campus LMS（授業支援システム）経由で提出する。

Ⅲ 奨学金について

本プログラムは立教大学グローバル奨学金および立教大学「校友会成績優秀者留学支援奨学金」の対象となる。申請資格等の詳細については学生部学生課で確認すること。

https://spirit.rikkyo.ac.jp/student_affairs/scholarships/SitePages/index.aspx

Ⅳ 研修参加における誓約および了解事項

1. 本プログラムに参加する学生は、「Short-term Study Abroad Program in Economics (USA) は、学生個人の自発的選択と責任において行なわれるべきものである。」ことを了解し、かつこの趣旨に関して、保証人の同意を得なければならない。
2. 渡航準備から帰国までを含む研修中の一切の行動は、学生個人の責任において行なわなければならない。
3. 渡航期間中、立教大学経済学部の責任に帰することができない事由、または本学および受入機関が管理し得ない状況のもとで発生した事故等により、自己に生じた損害または第三者に与えた損害については自己の責任において損害賠償責任その他の責任を負う。
4. 科目担当者は、本プログラムの成果を上げるためのオリエンテーションおよび助言を随時行ない、相談に応じる。
5. 参加学生は、事前研修、及びアメリカにおける海外研修等全てに出席しなければならない。
6. 計画は、実施内容の検討により変更することがある。
7. 参加学生は、大学が包括契約を行う海外旅行傷害保険（死亡・傷害・疾病・損害賠償責任付）に加入する。
8. 事前に内外の情勢によって渡航が危険であると判断された場合は、プログラムの実施を中止する。その場合には履修が取り消しとなる。
9. 本プログラムに参加する際に、身体面・精神面その他において特別な支援・配慮が求められる場合、受入教育機関及びホームステイ斡旋業者との事前協議が必要となる可能性がある。そのため、特別な支援・配慮を必要とする学生は参加申込フォームの所定の欄に記入し、求めら

れる支援・配慮内容に関して具体的に申告すること。また科目担当教員に対して、可能な限り早めに事前相談を行うことが望ましい。

V 科目担当教員

山本 周吾（経済学部准教授）

VI 問い合わせ先 学部事務2課（経済学部担当） Email: intl-eco@rikkyo.ac.jp

以 上